

災害・事故時の化学物質等漏出・流出・飛散等対応 に関するアンケート結果と本日の討議について

令和8年7月29日
環境省 大臣官房 環境保健部 化学物質安全課



準備会合における議論



- 本日の政策対話に先立ち、7月9日にオンラインで準備会合を開催。今回のテーマである「災害・事故時の化学物質等漏出・流出・飛散等対応」について、近年の自然災害に伴う化学物質の漏出・流出事案の増加といった背景や課題認識を各主体で共有するとともに、当日の活発な議論の土台とするため、事前アンケートへのご協力をお願いした。

①政策対話の概要・政策対話の進め方

- 学識経験者・市民・労働団体・産業界・行政が参加し、平成24年以降これまでに23回開催。
- 第20回で抽出した5トピックのうち、第24回は「**災害・事故時の化学物質等漏出・流出・飛散等対応**」をテーマに設定

②環境省の災害・事故時の化学物質対応

- 豪雨・洪水等の自然災害に伴う化学物質の漏出・流出リスクへの対応が課題。
- 化学物質管理指針の改正（R4.11）等を契機に、行政・事業者・国環研との協働・国土強靱化計画で取組を強化。

③ 事前アンケート記入シート

- 本会合の議論に向け、基礎情報を把握するためメンバーへ書面で意見募集。
 - 設問Ⅰ）平時からの災害への取組 Ⅱ）効果的な取組・活用ツール
- ※次ページで詳細を紹介



本会合（第24回政策対話）： テーマ「災害・事故時の化学物質等漏出・流出・飛散等対応」

第24回会合に向けた事前アンケート

○平時からの災害への取組について
ご所属において横展開等が考えられる化学物質の漏洩に伴う災害・事故への取組についてご記入ください。

記入のポイント

ポイント1 平時から実施している災害に備えた取組

ポイント2 関係する主体間連携の状況

ポイント3 自然災害に起因する化学物質漏洩・流出事故への対応事例

○災害・事故等における効果的な取組について
環境省において公開しているツール等において今後効果的だと考えられるや取組や連携が考えられる事項ご記入ください。

対象となるツール・制度

- ・ PRTRインフォメーション広場における災害関連の掲載について
- ・ D.Chem-Core（ディーケムコア）
- ・ 化学物質アドバイザー制度
- ・ 災害机上演習
- ・ 地方公共団体環境部局における化学物質に係る災害・事故対応マニュアル策定の手引き
- ・ その他お気づきの点 など

※上記項目について、詳細を本会合で紹介してほしい、広く普及がされていない等、マニュアル改定・改善にむけてのご提案など

事前アンケート回答概要（平時からの災害への取組について）①



ポイント1 平時から実施している災害に備えた取組

訓練、体制整備、人材育成

- ◆ ISO14001に「緊急事態への準備及び対応」を規定し、防災規定に基づく対応体制を整備。
- ◆ 各工場で、防災、輸送、通信等の訓練を定期的実施。
- ◆ SDSの理解、保護具、応急処置等に関する教育を継続して実施。
- ◆ 地元消防との共同訓練や、夜間・休日を含む訓練を実施。
- ◆ 事業者を対象としたリスクコミュニケーション研修を実施。

設備・保管上の対策

- ◆ 保安用窒素の緊急バックアップ体制や、災害・事故対応に必要な資機材を整備。
- ◆ 過去の事故等を踏まえ、設備の耐震・津波対策、危険物タンクの耐震基準の見直し、地域別の地震動への対応、非常用電源の確保等を実施。
- ◆ 毒劇物保管庫の浸水対策を含む見直しを実施。
- ◆ 実験室において、防水床への堤防設置、濃縮廃液タンクの二重保管、試薬瓶の転倒防止等を実施。

調査、モニタリング、リスク評価、情報基盤

- ◆ 主要河川における界面活性剤・PRTR対象物質の調査や、事故データの収集を実施。
- ◆ 職場におけるリスクアセスメントを推進。
- ◆ アスベスト飛散の継続調査や、PRTRデータ活用に関する公開講座等を実施。
- ◆ 全国規模の環境モニタリング、環境データベース、化学物質の環境動態・生態リスク評価、GIS空間解析等の研究基盤を整備。
- ◆ D.Chem-Coreを公開し、自治体環境部局等による災害・事故時の活用を想定。

災害への備え・普及啓発

- ◆ 災害廃棄物への備えとして、平時からの片付けや、家庭内の有害・危険物を含む物品の管理等を呼びかけ。
- ◆ アスベストの危険性や災害時の飛散防止について、住民・ボランティア等に情報を提供。

事前アンケート回答概要（平時からの災害への取組について）②



ポイント2 関係する主体間連携の状況

行政・消防等との連携

- ◆ 地元消防との共同訓練を実施。
- ◆ 消防、国・地方公共団体の関係部局、警察、海上保安庁等との連絡・情報共有体制を整備。
- ◆ 大規模災害時にアスベスト飛散のおそれがある建物を自治体に通報し、対応方針を協議。
- ◆ 机上演習において、水道部局との連携強化を推進。

事業者間・サプライチェーンでの連携

- ◆ 近隣企業との防災協議会等を通じ、有事の応援協定や情報共有体制を整備。
- ◆ BCPに基づき、サプライチェーンにおける化学物質の漏洩・流出情報が伝達される仕組みが整備される。
- ◆ 防災情報を自治体から入手し、コンビナート内で共有。事故対応事例についても、協会・個社で共有。

研究機関等との連携

- ◆ 災害時にモニタリングデータ、リスク評価手法、生態系影響評価等の専門的知見を提供可能とするよう、環境省、国立環境研究所、地方環境研究所、地方公共団体、大学等で共同研究・情報共有を進めている。

地域住民・市民との連携

- ◆ 事業者と地域住民・自治体との対話を継続的に開催。
- ◆ 自治体担当者を招いた市民講座や、住民・ボランティアに対する学習会を実施。
- ◆ 平時から地域住民とのコミュニケーションを重視。

ポイント3 自然災害等を踏まえた対応事例

- ◆ 阪神・淡路大震災後の解体工事に伴うアスベスト飛散を測定・問題提起。以後も災害時の飛散問題に継続的に取り組む。東日本大震災において、公道に散乱したボンベを全国から駆けつけた社員が回収。
- ◆ 過去の事故等を踏まえ、設備・保管対策や通報・応急措置体制等を見直し。

事前アンケート回答概要（環境省の取組等に関する主な意見）



PRTRインフォメーション広場

- 活用事例の紹介、検索性の向上
- GIS機能を用いた災害ハザード情報との重ね合わせ
- 災害時に想定される化学物質リスクの把握
- 平時の化学物質管理の改善に役立つ情報の充実

D.Chem-Core

- 幅広い周知、具体的な活用事例の紹介
- 初動対応フロー、ケーススタディ、演習教材・検索機能の充実
- 想定利用者や必要な専門知識を踏まえた活用方法の検討

化学物質アドバイザー制度

- 制度の内容、具体的な活用場面の周知
- 地方公共団体への普及、専門家・研究機関等との連携体制の可視化
- 事業者の管理改善や、地域との対話への活用

災害机上演習

- 事業者、市民団体、ボランティア等の参加機会の拡大
- 複合災害を含むシナリオ、関係部局が連携する演習の充実
- 継続的な研修、演習事例の共有、参加機会の確保

地公体マニュアル策定の手引き

- 防災計画との接続、環境部局・危機管理部局等の連携
- 優先事項、役割分担、相談先等を整理したチェックリストの充実
- 活用事例や、事業者・住民への情報提供の充実

取組間・主体間の連携

- 関連情報を一元的に把握できる仕組み
- 関係部局、研究機関、事業者、災害支援組織等との連携
- 人材育成、人材育成、住民・地方公共団体等との平時からの対話

本日の進め方



■ 準備会合や事前アンケートを踏まえ、以下の話題提供者からの話題提供を交えつつ、意見交換を行う。

- 話題提供Ⅰ：日本化学工業協会 石井様
「災害・事故時の漏洩・飛散対策 化学産業の取組について」
- 話題提供Ⅱ：花王株式会社 長谷様
「持続可能な社会に向けた花王GFC推進活動『責任ある化学物質管理』」
- 話題提供Ⅲ：国立環境研究所 今泉様
「災害・事故時の化学物質環境リスク管理に資する情報基盤と机上演習」
- 話題提供Ⅳ：横浜市 古谷様
「横浜市における災害時の化学物質関連事故対応に備えた取組」

本日の進め方



- 以下の点にもご留意いただきつつ、御討議のほどをお願いします。

提示いただいたご意見について

- 様々な主体の方々が**共通認識**を持てるように、背景や具体的な取組内容等について、補足説明があればお願いします。

提言や課題のご意見について

- 課題の解決にむけて、**自らが行っている/行おうとしている取組**があればご紹介ください。
- その中でも、特に、**異なる主体間と連携して行うとより効果的になると**思われる取組があればご提案ください。